



---

## ハイライト

- ブロック・ストレージのハイブリッド・クラウド戦略を実現
  - オンプレミスとパブリック・クラウド間でデータを複製または移行
  - オンプレミスとパブリック・クラウドのデータ・ストア間やパブリック・クラウド・データセンター間で災害復旧戦略を実装
  - オンプレミスとクラウドとで自由にデータを保存
  - 使いなれた高度なストレージ機能をクラウド上で利用可能
- 

# IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud

パブリック・クラウド・ストレージへのリアルタイムな災害復旧、レプリケーション、移行を実現

急増するデータ量を保管するスペースの確保は、企業にとって重要な問題ですが、データの課題はそれだけではありません。最近の調査によると、企業は「データ保護」「ハードウェアのコスト」「急増するデータ量」をストレージの課題上位に挙げています。<sup>1</sup> また別の調査では、78 パーセントがパブリック・クラウド・サービスをある程度使っていると回答しています。<sup>2</sup> つまり、企業がデータの保管、管理、保護する方法は、データのために準備するストレージ容量と同じくらい重要だということです。

企業にとっての課題は、これまでの柔軟性を維持しながら、新たな複雑さや新たな資本投資をもたらすことなく、オンプレミス・ストレージとパブリック・クラウド・ストレージをどのようにリンクさせるかです。

IBM® Spectrum Virtualize™ は、<sup>3</sup> IBM SAN Volume Controller (SVC)、IBM Storwize® ファミリーのストレージ・ソリューション、IBM FlashSystem® V9000、VersaStack™ コンバージド・インフラストラクチャーで長年にわたって実証済みの先進的な Software Defined Storage ソリューションであり、150,000 以上のシステムで IBM Spectrum Virtualize が稼働しています。これらのシステムは、8.2 エクサバイト以上のデータを管理しながら、ファイブナインを超える可用性を達成しています。<sup>4</sup>

オンプレミスで稼働する IBM Spectrum Virtualize は、ストレージ・システムに内蔵された容量のほか、IBM や他社製の 440 種類以上のストレージ・システムの容量も管理対象としてサポートします。このソリューションは、幅広いストレージのサポートにより、今日のデータセンター内で稼働している多くのストレージにも適用できます。IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud は IBM Cloud Performance and Endurance ブロック・ストレージ・オプションをサポートします。



IBM Spectrum Virtualize と IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud は共に連携しながら、オンプレミスとクラウド・データセンター間、またはクラウド・データセンター間の同期および非同期ミラーリングに対応します。これらの機能を利用すると、次のことを実現できます。

- ・ オンプレミスとクラウド・データセンター間またはデータセンター間のデータ移行
- ・ オンプレミスとデータセンター間、またはクラウド・データセンター間で災害復旧戦略を実装
- ・ オンプレミス・ソースからの容易なデータの複製によるクラウドベースの DevOps 実現
- ・ IBM FlashCopy® や IBM Easy Tier® などの先進的なデータ・サービスにより、IBM Cloud パフォーマンス・ブロック・ストレージやエンデュランス・ブロック・ストレージの基本的な性能や機能を強化

IBM Spectrum Virtualize の機能は次のとおりです。

- ・ 幅広いベンダーの 440 種以上のストレージ・システムをサポート (オンプレミスのみ)
- ・ シンプロビジョニングを備えたストレージプールおよび自動割り当て
- ・ Easy Tier 自動階層化
- ・ IBM Real-time Compression™ により、要件の厳しいアプリケーションで扱われるデータも最大 5 倍多く保存可能<sup>3</sup> (オンプレミスのみ)
- ・ ソフトウェアによる暗号化機能により、既存のストレージのデータ・セキュリティを改善 (オンプレミスのみ。IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud でクラウド・インフラストラクチャー暗号化サービスを使用)<sup>7</sup>
- ・ IBM FlashCopy とリモート・ミラーにより、ローカルおよびリモート・レプリケーションに対応
- ・ VMware、Microsoft Hyper-V、IBM PowerVM®、Docker、Kubernetes などの仮想化およびコンテナ・サーバー環境をサポート

IBM Spectrum Virtualize を利用するとさまざまなメリットを享受できます。たとえば、わずか 5 パーセントのフラッシュ・ストレージを追加すれば性能が 5 倍向上し、IBM Spectrum Control™ を併用すれば人件費と管理コストが 5 パーセントから最大 63 パーセント低減し、ストレージ利用率が最大 100 パーセント高くなります。<sup>6</sup>



ストレージ管理者は、440 以上の対象ストレージ・システムのいずれからでもデータを容易に標準パブリック・クラウド・ストレージに移行したり、パブリック・クラウド・オプションを使って災害復旧に備えたりすることができます。

### IBM Spectrum Virtualize のメリット

IBM Spectrum Virtualize ソフトウェアがもたらす先進的なメリットにより、ストレージの利用方法が主に 3 つの点で改善されます。

**データ価値の向上:** IBM Spectrum Virtualize ソフトウェアにより、ストレージの使用率向上やアプリケーションが高速化され、データ保存のコスト低減やビジネスの知見を迅速に生成が実現できます。

**データ・セキュリティの向上:** IBM Spectrum Virtualize を使用すると、データの保護、アプリケーションの可搬性、災害復旧を含む高可用性戦略を実現しながら、盗難や不適切な漏洩からデータを保護できます。

**データ環境のさらなる簡素化:** IBM Spectrum Virtualize により、選択した基盤に左右されずにデータ戦略が立案でき、異機種ストレージ環境において緊密に統合した機能と一貫した管理を実現できます。

オンプレミスやクラウド上の IBM Spectrum Virtualize ソフトウェア層により、より多くのサービスを迅速かつ効率的に提供したり、リアルタイムなビジネスの知見を抽出したり、顧客とのコミュニケーションを増やすことで、ビジネスに大きなメリットをもたらします。迅速で柔軟なプロビジョニングや容易な構成変更、ストレージ

シ階層間の無停止でのデータ移動、単一のユーザー・インターフェースなどの機能により、ハイブリッド・クラウド環境にまたがるストレージ基盤がより簡素化でき、費用対効果も上がり、管理もしやすくなります。

## 拡張性

サポート対象の IBM Cloud ベア・メタル・サーバー構成の選択により、費用と性能の要件に柔軟に対応できます。ペアで導入すると可用性に対応でき、さらに追加すれば、拡張性に優れた構成を実現できます (最大 4 ペア)。フラッシュでサポートされる<sup>7</sup> IBM Cloud パフォーマンス・ブロック・ストレージと高効率な IBM Cloud エンデュランス・ブロック・ストレージのオプションを組み合わせ、企業固有のニーズに合わせた構成を構築できます。ストレージの追加や変更はいつでもできます。パフォーマンス・ストレージ専用サーバーと事前に割り当てられた I/O 処理性能 (IOPS) により、一貫して確実な性能が得られます。

## クラウド用に設計された導入

世界中の 25 以上の IBM Cloud データセンターから、希望するサーバーとストレージ構成を注文できます。導入スクリプトによって IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud ソフトウェアが自動

的に導入され、すぐにカスタマイズできます。IBM Cloud のサーバーとストレージは、毎月の使用状況に応じて課金され、IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud ソフトウェアも月単位で課金されます。従量制の追加オプションにより、必要に応じて追加のストレージ容量を購入できます。

## ハイブリッド・クラウド・ソリューションの構築

パブリック・クラウドの場合、ある施設のストレージを別の施設のほぼ同一のストレージにただコピーしてデータを複製するという従来の方法は使用しません。また、従来のソフトウェアを使ってデータを複製すると、不要な負荷がアプリケーション・サーバーにかかります。IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud は、オンプレミスとクラウド・ストレージを組み合わせた新しいソリューションにより、より低コストで柔軟性を高めて、包括的なユース・ケースの選択肢に対応します。

## IBM Spectrum Virtualize の概要

	オンプレミス	パブリック・クラウド
対象ストレージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>組み込みのシステムや IBM および他社製の 440 種類以上のシステム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>IBM Cloud Performance and Endurance ストレージ</li> </ul>
ライセンス交付方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>TB あたり (IBM SAN ポリューム・コントローラー (SVC)) またはエンクロージャーあたり (Storwize ファミリー) の段階的なコスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>容量課金のシンプルでフラットなコスト</li> <li>月単位のライセンス付与</li> </ul>
プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>SVC、Storwize ファミリー、IBM FlashSystem V9000、VersaStack、ソフトウェアのみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>IBM Cloud Bare Metal サーバー・インフラストラクチャー</li> </ul>
信頼性、可用性、保守性 (RAS)	<ul style="list-style-type: none"> <li>統合 RAS 機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>柔軟な RAS: IBM Cloud とソフトウェアの RAS 機能</li> </ul>
サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハードウェアとソフトウェアの IBM サポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>IBM Cloud 環境における IBM ソフトウェア・サポート</li> </ul>

## IBM をお勧めする理由

IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud は IBM Spectrum Storage™ ファミリーのソリューションです。その中には、分析を活用したデータ管理を行う IBM Spectrum Control、データ保護の最適化とバックアップ・コストの軽減を実現する IBM Spectrum Protect™、テープへの高速データ・アーカイブを行う IBM Spectrum Archive™、クラウドベースのストレージを迅速に導入する IBM Spectrum Accelerate™、非構造化データ用に高性能で非常にスケーラブルなストレージを提供する IBM Spectrum Scale™、コピー管理を簡素化する IBM Spectrum™ Copy Data Management も含まれます。

IBM リサーチは、ストレージの管理機能と最適化機能など、ソフトウェアとハードウェア双方におけるストレージ技術開発のリーダーです。お客様がデータを最大限に活用できるよう、IBM は分析、コンテンツ管理、データベースの業界最先端の機能を提供しています。世界中の多くのお客様ビジネスを支える 40 以上のグローバル・データセンターを擁する IBM は、クラウドベースのストレージとコンピューティング・サービスの主要プロバイダーです。

## 詳細情報

IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud ソフトウェアと IBM Spectrum Storage ファミリーのストレージ・ソフトウェア製品の詳細については、IBM 営業担当者または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。 [ibm.com/jp-ja/marketplace/virtualization-software](http://ibm.com/jp-ja/marketplace/virtualization-software)

さらに、IBM グローバル・ファイナンスは多数の決済方法をご用意して、ビジネスの成長に必要なテクノロジーを購入できるようにお客様を支援します。ご購入から廃棄まで、IT 製品とサービスの完全なライフサイクル管理を提供します。詳細については、次の Web ページをご覧ください。 [ibm.com/financing/jp/](http://ibm.com/financing/jp/)



© Copyright IBM Corporation 2018

IBM Systems  
New Orchard Rd  
Armonk, NY 10504

Produced in Japan  
May 2018

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、IBM Spectrum Virtualize、Easy Tier、FlashCopy、IBM FlashSystem、IBM Spectrum、IBM Spectrum Accelerate、IBM Spectrum Archive、IBM Spectrum Control、IBM Spectrum Protect、IBM Spectrum Scale、IBM Spectrum Storage、Real-time Compression、および Storwize は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または他社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、次の Web サイトをご覧ください。 [ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://ibm.com/legal/copytrade.shtml)

Microsoft は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

本資料の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行なっているすべての国において利用できるわけではありません。

記載されている性能データは、例として示す目的のみ提供されています。実際の結果は、特定の構成や稼働条件によって異なります。

他社の製品またはプログラムと IBM の製品またはプログラムを併用した場合の操作の評価および検証は、お客様の責任で行ってください。

本資料に掲載されている情報は特定物として現存するままの状態を提供され、第三者の権利の侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示的もしくは黙示の保証責任なしで提供されています。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

ストレージ容量は、非圧縮データと圧縮データの両方について記載する場合があります。実際に使用可能な容量は、さまざまな要因により変動するため、記載された値よりも少ない場合があります。

<sup>1</sup> “2017 Storage Trends: Challenges and Spending,” *Enterprise Strategy Group*, August 2017. <http://www.esg-global.com/research/esg-brief-2017-storage-trends-challenges-and-spending>

<sup>2</sup> “2017 IT Spending Intentions Survey,” *Enterprise Strategy Group*, March 2017. <http://www.esg-global.com/2017-it-spending-intentions-survey>

<sup>3</sup> “IBM Spectrum Storage Suite: Meeting Industry Needs for Software-Defined Storage,” *IDC*, January 2016. <https://www-01.ibm.com/common/ssi/cgi-bin/ssialias?subtype=WH&infotype=SA&htmlfid=TSL03265USEN&attachment=TSL03265USEN.PDF>



Please Recycle

